

燕島におけるオオセグロカモメ *Larus schistisagus* の繁殖例

成田 章

青森県立むつ養護学校, 〒035 青森県むつ市奥内栖立場1-110

青森県八戸市鮫町の燕島(40°32'N, 141°33'E)は、国の天然記念物に指定されているウミネコ *Larus crassirostris* の繁殖地である。島の面積は1.78ha、標高17mであり、島全体が繁殖地で約4万羽のウミネコが繁殖している。燕島はウミネコだけが繁殖する島といわれているが(成田 1985)、数年前から繁殖期にもオオセグロカモメ *L. schistisagus* が観察されていた。著者は、1994年に島内でのオオセグロカモメの繁殖を観察したのでその繁殖経過について報告する。また、繁殖時にウミネコに対してみられる攻撃的行動について記載する。

調査は1994年6月4日、5日、11日、19日、26日、7月3日、9日、16日の計8日間行なった。抱卵行動による長時間滞ると、滞在巣付近でみられるなわばり防衛行動によって巣を発見した。巣のわきに記号(A, B, C)のついた木札を差し込み(以後、巣をそれぞれA巣、B巣、C巣と呼ぶ)、繁殖経過を記録した。巣内での卵発見日に、巻き尺で巣の内径、ノギス、台秤、デジタルポケット計量器を使用して卵の長径、短径、重量を計測した。また、A巣では、なわばり防衛として生じる攻撃的行動を記録した。Moynihan (1958), Butler & Janes-Butler (1983)にしたがい、攻撃的行動をupright aggressive (攻撃的直立姿勢), charge (突進), chase (追跡), jab (つつく), fight (対立)に分類し、巣から約10m離れた地点から定点観察した。定点観察の総観察時間は6時間である。

オオセグロカモメが巣内で抱卵していた卵の大きさは、Table 1のとおりである。卵の色は、黄緑色の地色に茶褐色もしくは黒褐色の斑紋が多数みられた。卵の大きさや色は、オオセグロカモメのほかの報告(清棲 1973, 橋本 1991; Table 1 下段)と類似していた。卵の大きさはすべてウミネコの卵(成田 1992)よりも大きかった。巣材は、3巣とも枯れ草や海藻であった。また、巣の内径はA巣が22.5cm、B巣が28.6cm、C巣が32.0cmであった。巣材や巣の内径は、清棲(1973)のオオセグロカモメの巣と類似していた。

オオセグロカモメの繁殖が確認された巣の位置は、Fig. 1のとおりである。A巣はなだらかな草原につくられていた。B巣、C巣は岩上にあり、B巣とC巣の巣間距離は約3mであった。ウミネコの巣はオオセグロカモメの周辺に多数あり、最も近い巣との巣間距離は約70cmであった。

A巣での卵発見日は6月4日であり、3卵が産卵されていた。6月19日には卵数が2卵になり、6月19日には1卵になり、7月3日に卵すべてが巣内から消失していた。

B巣の卵発見日は6月19日であり、巣内卵数は2卵であった。7月3日に巣内卵数が1卵になり、7月16日には巣内で卵が消失し、巣から約1m離れたところで卵殻の一部が破損した状態で放置されていた。

C巣の卵発見日は6月19日であり、巣内卵数は3卵であった。7月3日に3卵すべて卵殻の一部に

1994年11月16日受理

キーワード: 青森県, ウミネコ, オオセグロカモメ, 燕島, 攻撃的行動, 繁殖記録

Table 1. Comparison of egg size between the Slaty-backed Gull and the Black-tailed Gull on Kabu island, Aomori Pref, Japan.

nest	no. of eggs	length (mm)	width (mm)	weight (g)
Slaty-backed Gull				
A	3	74.0	47.7	86.0
		71.8	49.2	86.0
		67.4	46.8	80.0
B	2	73.9	51.7	102.0
		75.6	50.6	99.5
C	3	71.7	51.5	96.0
		71.2	50.8	93.0
		74.3	52.0	110.0
Kiyosu (1973)		72.9*	53.3*	
		68.0 – 82.0**	48.0 – 55.0**	
Black-tailed Gull				
Narita (1992)		61.6±2.6*	43.2±1.4*	60.5±5.3*
(n=1223)		53.3 – 66.7**	38.3 – 46.3**	40.0 – 75.0**

* Mean±S.D. ** Range

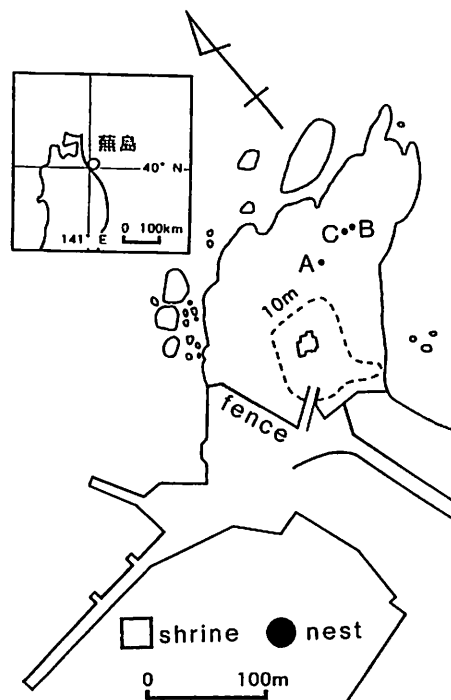


Fig. 1. Study area on Kabu Island, Aomori Pref., Japan.

小さな穴が開いており、ヒナがくちばしを動かし、卵歯で卵殻を壊す行動が見られた。7月9日には2羽のヒナが生存しており、1羽のヒナが巣内で死亡していた。7月16日にはこの巣の内部やその周辺にヒナが発見されず、また繁殖個体も発見されなかったので、繁殖に失敗したものと思われた。

オオセグロカモメの巣の周辺には多数のウミネコの巣が近接していた。ウミネコがA巣へ近づいた

場合、繁殖個体はなわばり防衛としての攻撃的行動を示した。6時間の行動観察で、38回攻撃的行動を行っていた。攻撃的行動の内訳は、charge 35回、upright aggressive 1回、jab 1回、fight 1回であり、大部分が接触のない威嚇行動であった。オオセグロカモメの攻撃的行動に対して、ウミネコは飛び去る18回、歩いて逃げる18回、upright aggressive 1回、fight 1回といった反応を示した。upright aggressive、fightの後にウミネコは歩いて逃げる行動を示した。逆に、オオセグロカモメがウミネコの巣へ近づいた場合、ウミネコに攻撃されることはなかった。これらのことから、オオセグロカモメはウミネコよりも優位であることが示唆された。

引用文献

- Butler, R.G. & Janes-Butler, S. 1983. Sexual difference in the behavior of adult Great Black-backed Gulls (*Larus marinus*) the pre- and post-hatch periods. *Auk* 100: 63-75.
- 橋本正雄. 1991. 人間がもたらした異常繁殖. 動物たちの地球 6: 232-233.
- 清棲幸保. 1973. 日本鳥類図鑑 II. 550-551 pp. 講談社, 東京.
- Moynihan, M. 1958. Notes on the behaviour of some North American Gulls, II: non-aerial hostile behaviour of adults. *Behaviour* 12: 95-182.
- 成田章. 1992. 蕨島におけるウミネコの繁殖生態. 上越教育大学大学院修士課程学校教育研究科1991年度修士論文.
- 成田慈一. 1985. 蕨島のウミネコ. pp. 8-9. 八戸市教育委員会, 八戸.

Breeding records of the Slaty-backed Gull *Larus schistisagus* on Kabu Island, Aomori Prefecture, western Honshu.

Akira Narita

*School for the Mentally Retarded, Faculty of Education,
Mutsu, Sutachiba 1-110, Okunai, Mutsu, Aomori, 035.*

I recorded 3 pairs of the Slaty-backed Gull *Larus schistisagus* breeding on Kabu Island, Aomori Prefecture in 1994. Nest A contained 3 eggs on June 4, nest B 2 eggs on June 19 and nest C 3 eggs on June 19, respectively. In nests A and B, all eggs disappeared from the nest during the incubation period. In nest C, 3 chicks hatched, but disappeared soon. Egg size (length, width and weight) of the Slaty-backed Gull was larger than those of the Black-tailed Gull *Larus crassirostris*. Observation of aggressive behaviors between the two species suggested that Slaty-backed Gulls may be dominant over Black-tailed Gulls.

Key words: aggressive behavior, Aomori Prefecture, breeding record, Larus crassirostris, Larus schistisagus.